

多久ロータリークラブが測定器を寄贈

12/ 3 [Fri]



▲古井会長（左から2人目）、真崎俊夫幹事（左から3人目）、船津美奈子会長エレクト（左から4人目）、と横尾市長（左から1人目）

多久ロータリークラブが、災害調査用の「レーザー距離・角度測定器」を多久市に寄贈されました。レーザー光の反射で被災箇所の距離を測定できるもので、被害が甚大で近づけない被災場所でも測定が可能。現場で働くみなさんの安全確保につながります。

市役所で行った贈呈式で多久ロータリークラブの古井俊路会長は「災害は起こらないことが一番の理想ですが、備えの一つとして活用してください」と話され、横尾俊彦市長は「令和元年や令和3年の災害では現地調査に苦労しました。この機器は軽くて使いやすく、災害時以外でも多角的に活用していきたいです」と感謝を述べました。

多久聖廟を照らす色鮮やかな光

12/15[Wed] ~ 1/15[Sat]

多久聖廟を約10万個の電飾で灯す「多久聖廟年末年始イルミネーション」（主催：多久美化クラブ）が、開催されました。イベント広場には、2年ぶりに「昇り龍」と「下り龍」をイメージした高さ4.5メートルの龍が登場。多久聖廟に向かう参道沿いに設置された五角形の「合格の門」のトンネルにも約40メートルに渡り細かな電飾が施され、幻想的な雰囲気を醸し出していました。

多久美化クラブの北川榮会長は「市民のみなさんのご協力のおかげで13回目を迎えました。年末年始や合格祈願で来訪されるみなさんに喜んでいただいています」と話されました。



▲毎年多くの受験生が訪れる「合格の門」

船津和正さんに高齢者叙勲

1/ 7 [Fri]



▲賞状を掲げる船津さん（前列中央）

市議会議員として昭和62年から平成11年までの12年間、長きにわたって市政のために尽力し、農業やスポーツの分野でも大きく貢献された船津和正さん（北多久町）への高齢者叙勲伝達式を、多久市役所で行いました。横尾俊彦市長が賞状と勲章を船津さんに手渡し、長年の功労に対して感謝の言葉を伝えると、船津さんは「たくさんの人に支えられて素晴らしい勲章を受けることができ、大変嬉しく思います。ありがとうございます」と笑顔で謝辞を述べられました。